令和６年度　守山区学校教育努力点と推進計画

名古屋市立守山北中学校

１　主題　　自他を大切にし、夢に向かって歩み続ける子どもの育成

２　実践の概要

本校は、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、学び合い活動を通して他者の考えを積極的に取り入れる教育活動を進め、「自分だけでなく、周りの人を思いやる心」と「夢を実現しようとする態度」の育成に取り組んできた。

昨年度は、話し合いを中心に協働的な関わりをもつことで「自他を思いやる心」の育成につながると考え実践を行った。話し合いを中心に協働的な関わりをもつためには、考えの多様性や違いを知り、受容的な態度が必要であり、親和的な雰囲気づくりが重要であることが確認できた。

本年度は親和的な雰囲気づくりに着目し、「尊重と自律」をテーマとし、「ナゴヤ学びのコンパス」を基に自他を大切にし、夢を実現しようとする態度の育成に取り組んでいく。

３　実践の内容

(1)　仲間との協働活動

行事や日常の学習生活の中に、積極的に協働活動を取り入れるようにし、仲間との関わりの時間を設け、多様な考えがあることの基盤を作る。

○　仲間との連帯感を高める学校行事の工夫　○　生徒全員で創り上げる生徒会活動

○　互いの立場・役割を尊重した学級活動　　○　共通の目標を目指し努力する部活動

(2)　対話と傾聴による生徒指導

協働活動は、話す聞く経験を積むことが重要になる。そこで、生徒同士の関わりだけでなく、教師側も生徒との関わりの中で対話を重視し、話す聞くことの経験につなげる。

○　生徒との対話による規範意識の育成　　○　保護者との協力を通した生徒理解

○　生徒の声に耳を傾け心に寄り添う教育相談体制の充実

(3)　自他を思いやる心の育成

道徳や学級活動を通じて、自分の言動によって相手はどのように感じるのか、相手の立場に立って気持ちを考え、自分も相手も思いやれる心を育む。

○　命の大切さを共に考える教育活動の推進

○　他者との違いを認め合い、いじめを許さない態度を育てる人権教育の推進

○　他者とともによりよく生きる態度を育てる道徳教育の推進

(4)　夢を実現しようとする態度の育成

よりよい人生に向けてどのような生き方をしていきたいか、講師を招いて講演を聞いたり、働くことへの関心を高めたりして、自分の将来を見据えたキャリア教育を理想とする生き方を見いだす教育活動の推進。

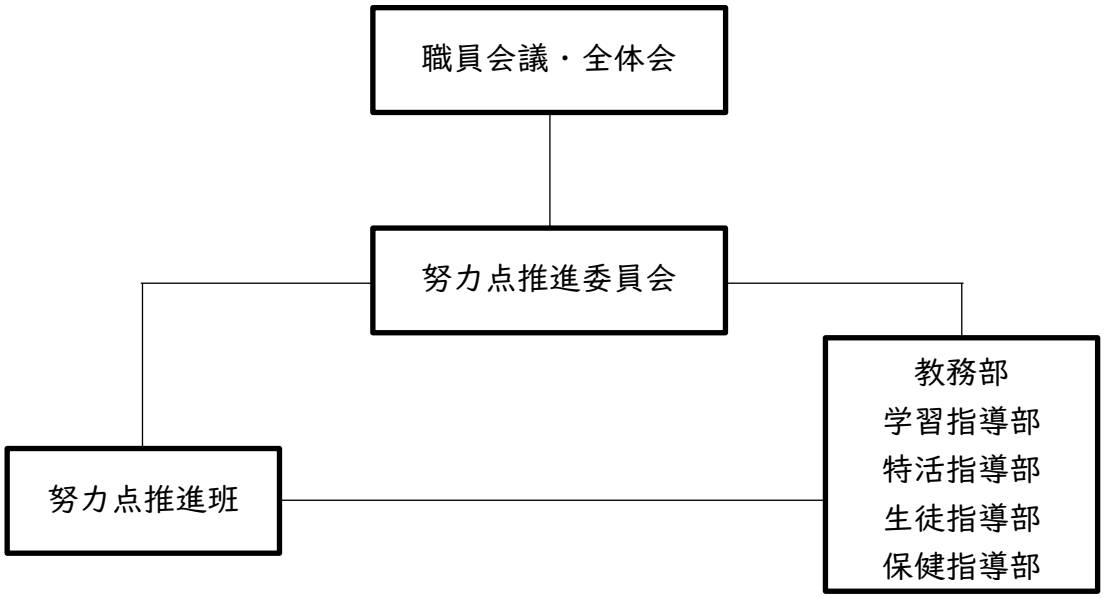
○　理想とする生き方を見いだす教育活動の推進

○　自ら考え、判断するための価値観を確立し、自律性を高めるキャリア教育の推進

○　小中９年間を見通した自立へ向けたキャリア教育の推進

4　努力点推進委員会

①　構成員

校長、教頭、教務主任、校務主任、学年主任、特別支援教育主任
教務部長・努力点推進班長

②　組織図